

長瀬産業株式会社が発行する 「サステナビリティ・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、長瀬産業株式会社（以下「本法人」）が発行する第8回サステナビリティ・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2022年6月9日）。

「サステナビリティ・リンク・ボンド」とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESGの目標（SPTs）を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことで、調達資金が必ずしも特定の資金用途に限定されません。

本法人は、本債券の発行にあたって、国際資本市場協会（ICMA）が定める「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020」に基づいて「サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワーク」を策定し、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、その適合性について、セカンドパーティーオピニオンを取得しております。

また、本法人は、SPTsを①2030年度に本法人グループの温室効果ガス排出量を46%削減（2013年度比）、②2030年度に本法人グループの温室効果ガス排出量を12.3%以上削減（2020年度比）、の2つを選定し、①が未達の場合、社債発行額の0.10%相当額、②が未達の場合、社債発行額の0.05%相当額の排出権（CO₂削減価値をクレジット・証書化したもの）を購入することとしています。

当組合は、今後もESG投資を通じて、SDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以上